

グリップヒーター

品目名	部品番号	対象機種	取付工数
グリップヒーター	9079H-66007	JOG E	1.2 H

はじめに

- ・ 記載内容や仕様などは、車両の改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
- ・ このマニュアルはメカニックなど YAMAHA モーターサイクルの基本的な技能や知識を持った人を対象として編集しています。したがって、技能や知識を持っていない人が本書のとおりを整備しても正しい整備ができないことがあります。

YAMAHA 二輪販売店様へ













この取扱説明書は、必ずお客様へお渡しください。

お客様へ

用品の取付には専門知識と特殊工具及び設備が必要になるため、自動車整備有資格者のいる販売店での取付をお勧めします。

シンボルマーク

下記のシンボルマークはこのマニュアルを通して作業上の注意事項、案内を示している。

	警告	指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至る可能性があるもの
	注意	指示に従わないと、傷害をうける可能性があるもの
	アドバイス	守らないと車両や構成部品が損傷するため、行ってはいけない事項および作業要領
	知識	作業を行う上で、知っておくと作業の効率化につながる情報や補足説明
		本機サービスマニュアルを参照
		被対象にゴム用接着剤を塗布する
		バンドで被対象を縛る
		脱脂剤で被対象を脱脂する
		ドリルで被対象に穴をあける
		マーカーで被対象に印をつける
		ハサミで被対象をカットする
		グリスを塗布する 特に指定がない場合、ヤマハグリース B を使用する

取付について

警告

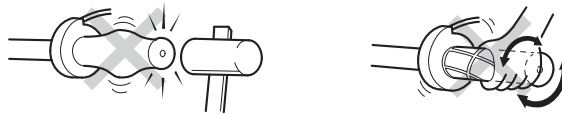
- 各スクリュー、ボルト、ナットは確実に締め付けてください。
締め付けが不確実なときは走行中に脱落し、運転者または後続車の乗員や歩行者を死亡または重大な傷害に至らしめる可能性が高くなります。
- 感電防止のために下記の指示に従ってください。
 - 部品の脱着をするときは、必ずメインスイッチを OFF にして動力用バッテリーを取り外してから行ってください。
 - 脱着するときは、必ず安全防護具を着用し、絶縁工具を使用してください。
 - 金属製品を身に着けて作業しないでください。
 - 床が濡れている場所や、雨のかかる場所では作業しないでください。
- スロットルケーブルを車両から取り外すときは、プライヤなどで無理に外さないでください。
スロットルケーブルが折れ曲がり、スロットルの戻り不良が原因で転倒事故などを起こし、死亡または重大な傷害に至る可能性が高くなります。
- 左側グリップヒーターとハンドルの接着を確実にを行うために必ずゴム用接着剤を使用し、接着されるまで乾燥させ、必ず確実に接着されているか確認してください。
指定外の接着剤を使用したり、十分な乾燥時間をとらないと走行中にグリップヒーターが外れることが原因で転倒事故などを起こし、死亡または重大な傷害に至る可能性が高くなります。
- 右側グリップヒーターを車両に取り付けたときは必ずスロットルの開閉を行い、引っかかりが無いか確認してください。
確認をおこたると、スロットルの戻り不良が原因で転倒事故などを起こし、死亡または重大な傷害に至る可能性が高くなります。

注意

- 安全防護具を着用し、絶縁工具を使用してください。また、安全防護具、絶縁工具は作業前に必ず点検し、損傷などないことを確認してください。
高電圧によって感電する可能性があります。

🔧 アドバイス

- 車両部品の取り外しは、サービスマニュアルで案内している注意事項に従って作業してください。
- 左側グリップヒーターの取り付けには、以下の内容を必ず守ってください。
 - グリップヒーターを挿入するとき、「グリップエンドをハンマでたたく」「グリップを強くねじる」などは行わないでください。グリップヒーター内で断線する恐れがあります。



- 万一、グリップヒーターが途中で入らなくなったときは、グリップヒーターとハンドルパイプの隙間に脱脂洗浄剤を入れて取り外してください。無理に配線ドライバなどでこじ開けると、グリップヒーター内で断線する恐れがあります。

📖 知識

- 取り外した部品は、元の仕様に戻すとき必要になりますのでお客様にお渡しください。
- 外装部品などの再取り付け時、配線類のかみ込みがないことを確認してください。
- 取り付けは、必ずバッテリー (-) ケーブルを外してから行ってください。
- バッテリーを外すと、時計などがリセットされるので再度設定してください。
- ハーネスバンドとクリップバンドはロック部から 5 mm 残してカットしてください。また、カットした部分が他のハーネスやブレーキホースなどに干渉しないようにしてください。

取付完了後の確認

- ハンドルを左右に転舵し、周辺部品の干渉などによるハーネスのかみ込み、ハーネスの引っ張りがないことを確認してください。
- ハンドルを左右に転舵し、本製品が車両に干渉しないことを確認してください。
- グリップヒーター、スロットル、灯火器類の作動について確認してください。
左側グリップヒーターの確認は、取り付けから一時間以上経過後に行ってください。また、接着剤軟化を防止するために、ヒーターレベルを 3 以上にしないでください。
作動確認後は、ヒータースイッチを OFF にしてください。

お客様の受け渡し時にお伝えください。

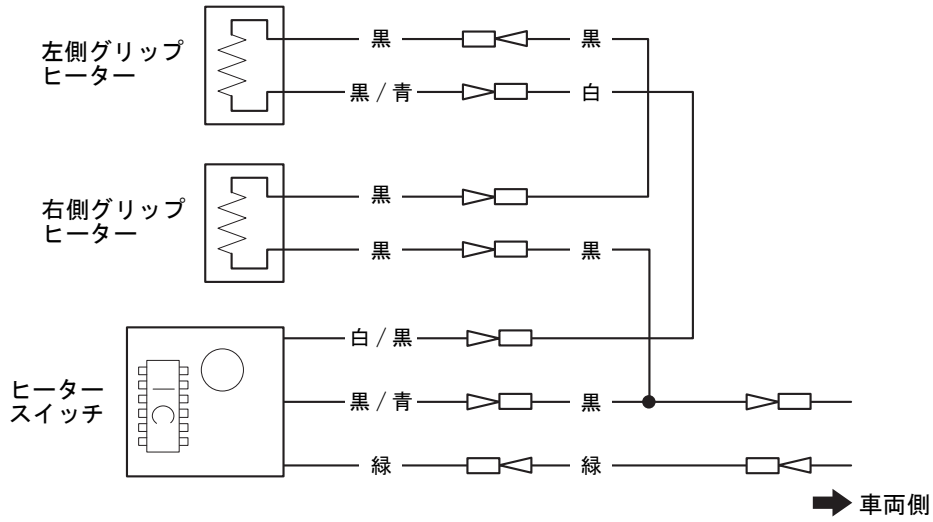
- 接着剤が硬化するまでの一週間は、ヒーターレベルを 2 以上にしないでください。

構成部品

取扱説明書及び取付要領書が同梱されているときは、必ずお客様にお渡しください。

構成部品	No.	部品名	個数
	(1)	右側グリップヒーター	1
	(2)	左側グリップヒーター	1
	(3)	ヒータースイッチ	1
	(4)	3 mm スクリュ	2
	(5)	スペーサ	2
	(6)	ハーネスバンド	3
	(7)	6 mm ソケットボルト	2
	(8)	グリップヒーターハーネス	1
	(9)	スイッチブラケット	1
	(10)	コードブラケット	1
	(11)	グロメット	2

配線図



トルクについて

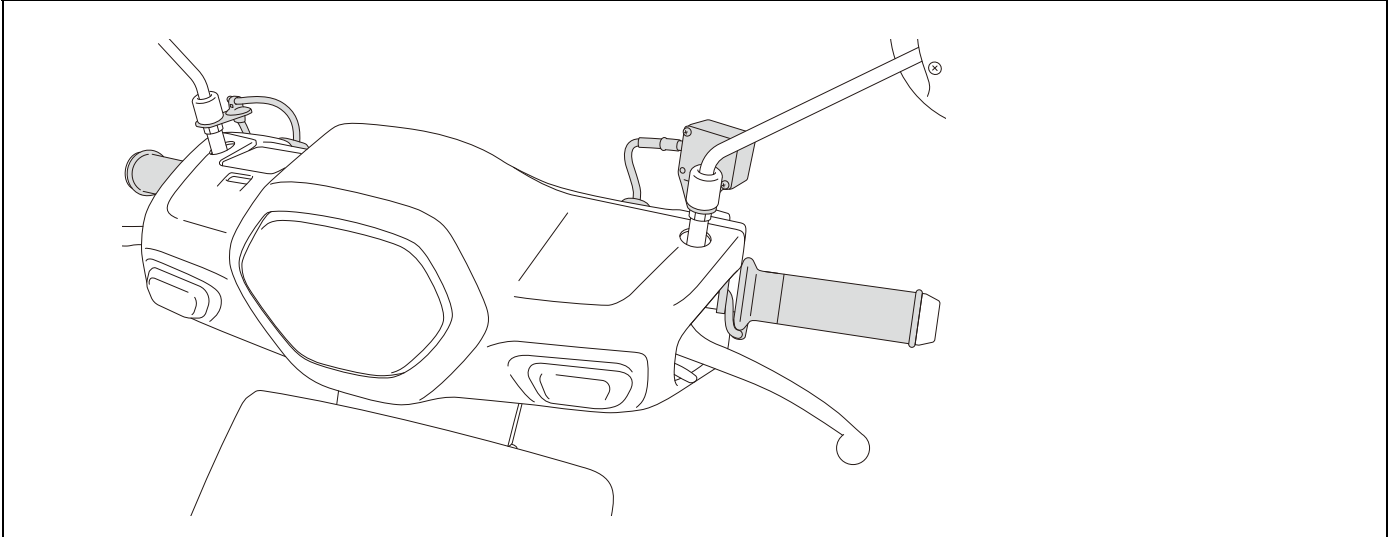
車両の部品の締め付けトルク、標準トルクはサービスマニュアルを参照してください。(M)

お客様へ納車するとき下記内容を必ずお伝えください。

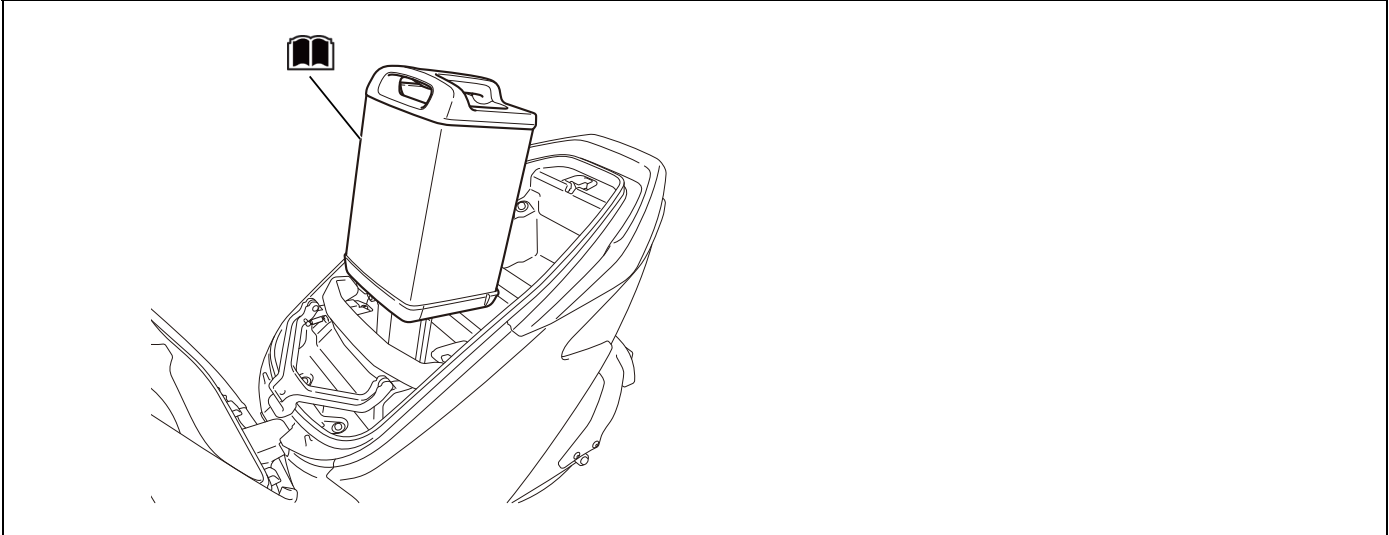
- ・ 納車から1週間の間にグリップヒーターを使用するときは、ヒーターレベルを2以下で使用してください。

取付方法

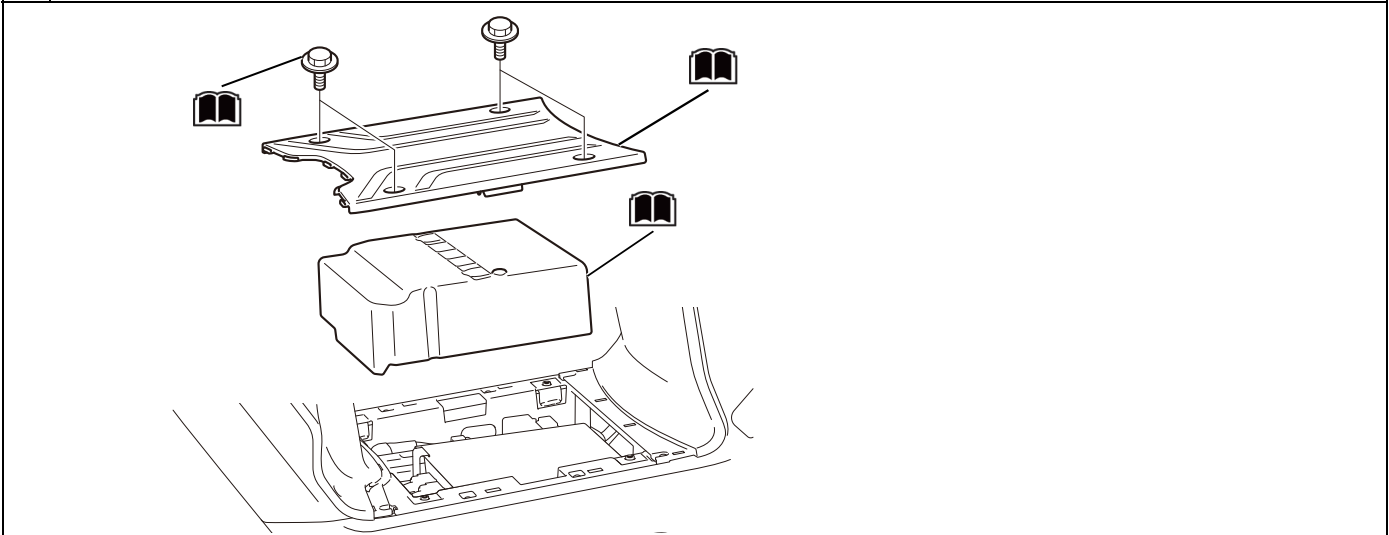
用品取付イメージ



1. 図の部品を取り外す。

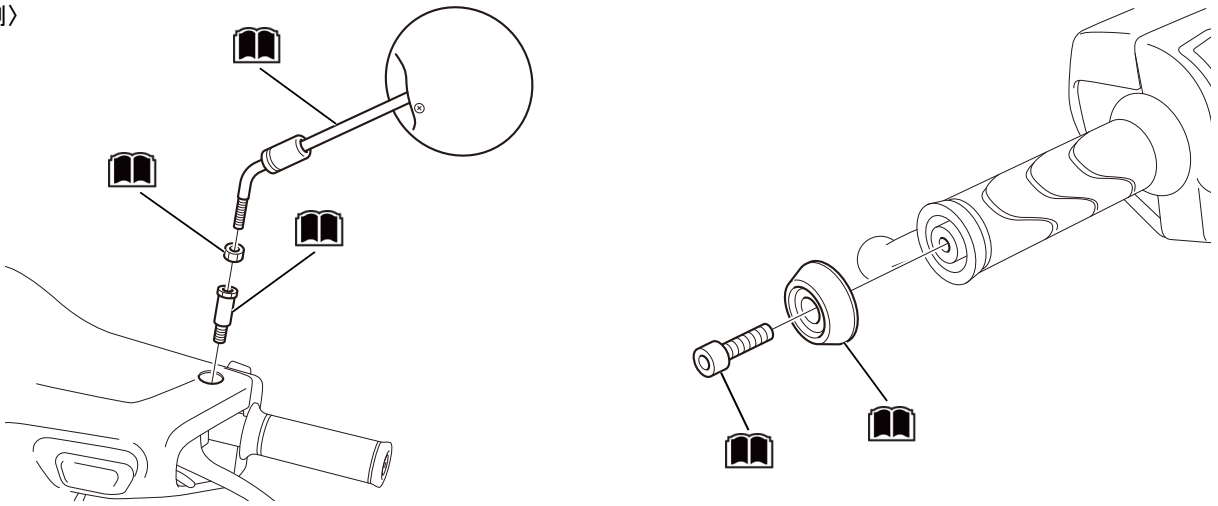


2. 図の部品を取り外し、バッテリー (-) ケーブルの接続を外す。



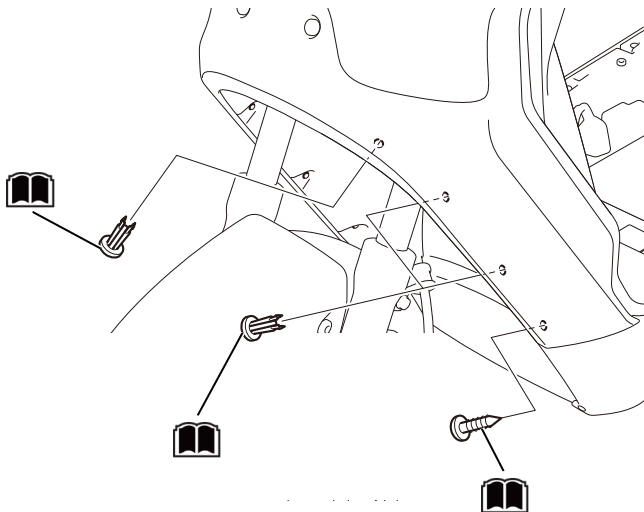
3. 図の部品を取り外す。
 ・ 右側も同様に取り外してください。

〈左側〉

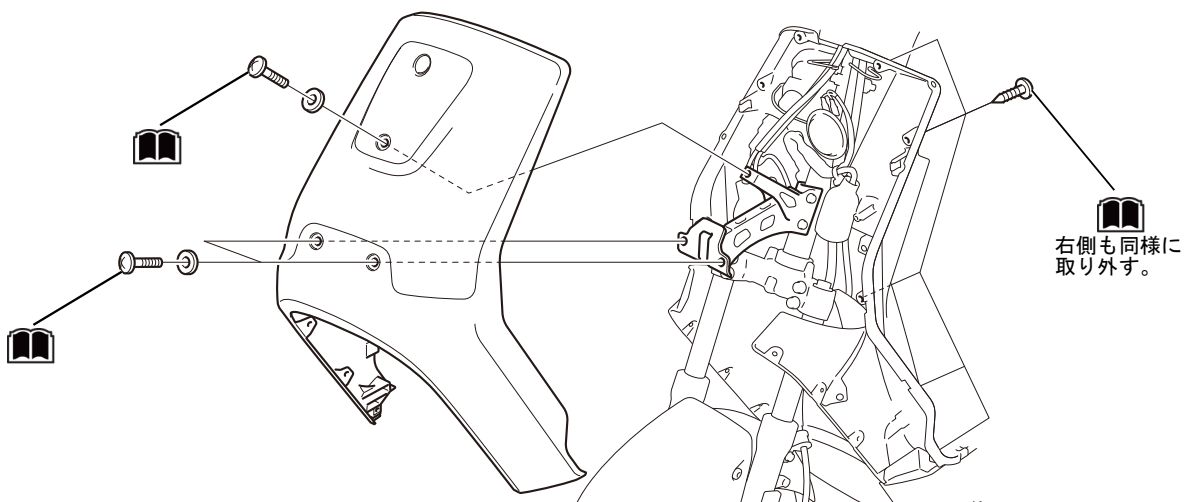


4. 図の部品を取り外す。
 ・ 右側も同様に取り外してください。

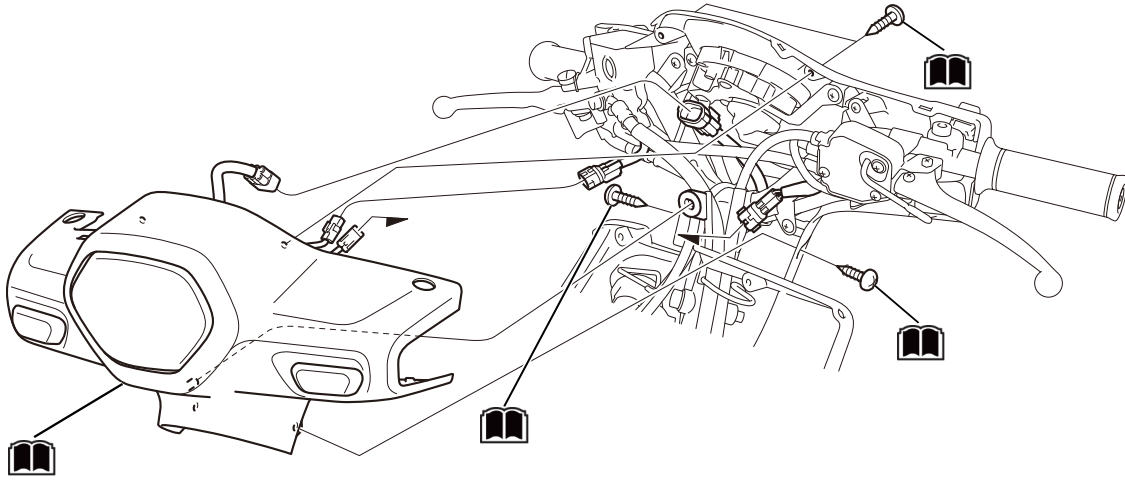
〈左側〉



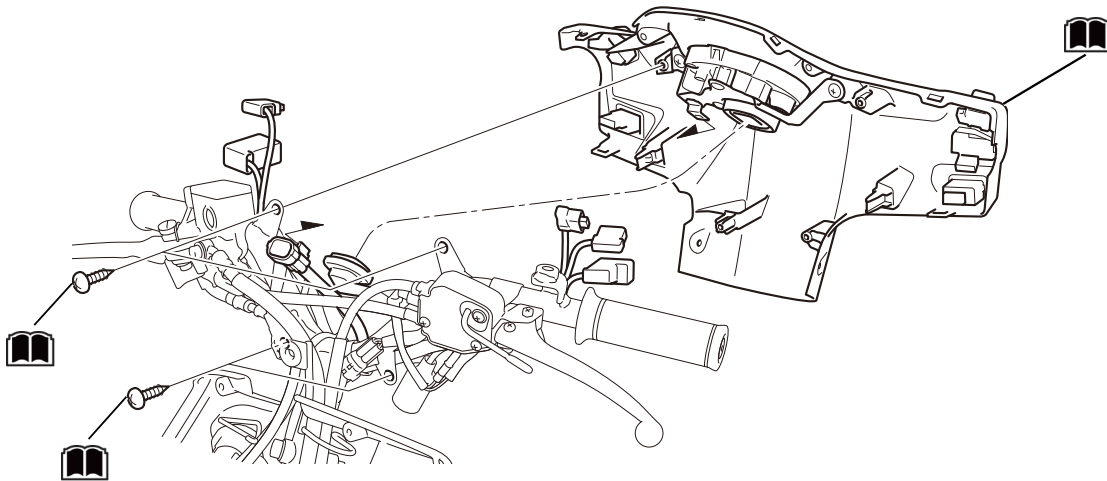
5. 図の部品を取り外す。



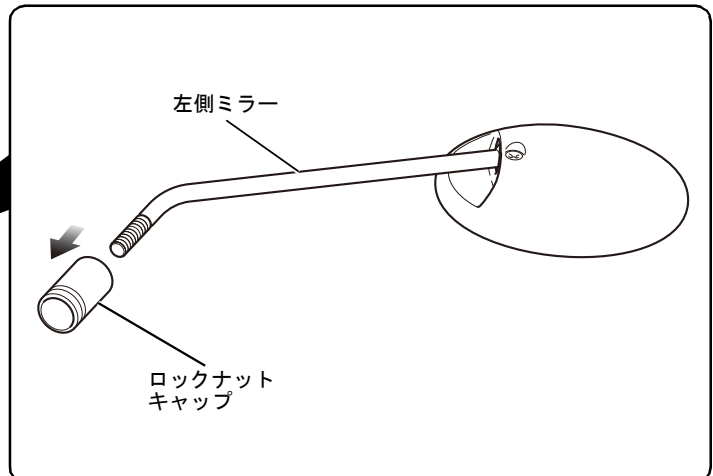
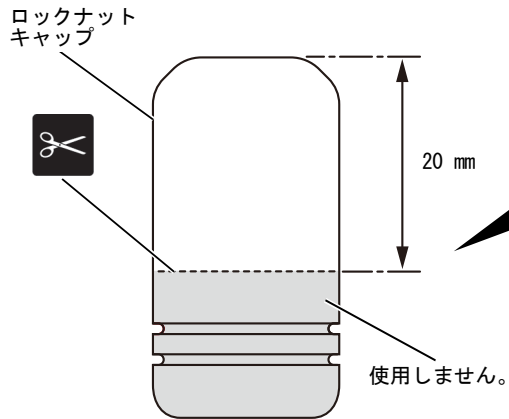
6. 図の部品を取り外す。



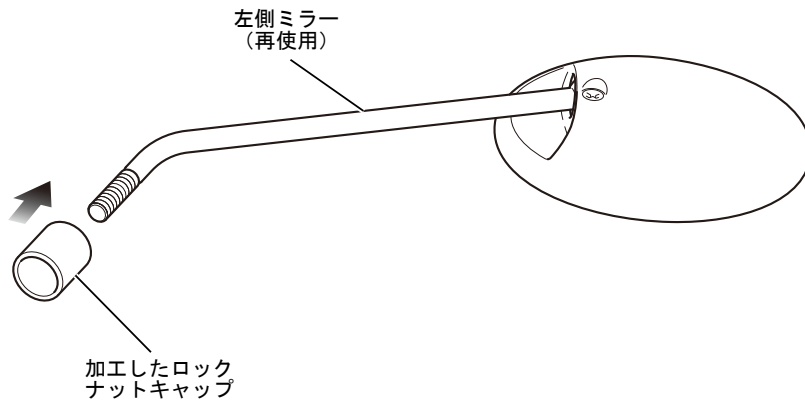
7. 図の部品を取り外す。



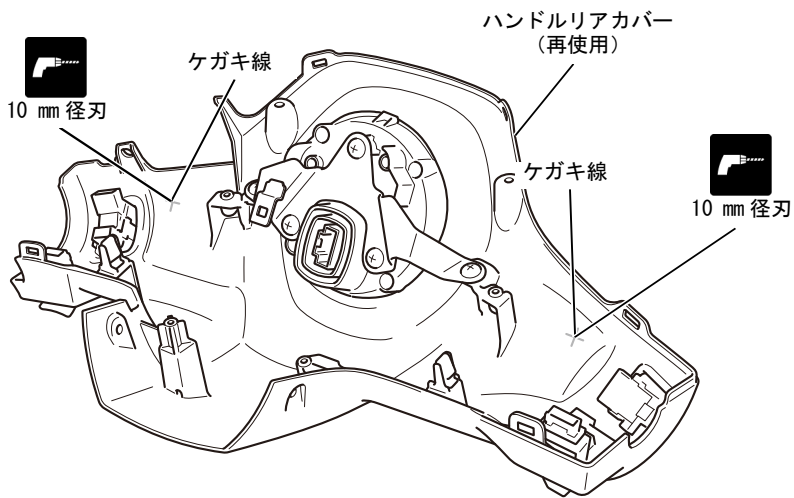
8. 図の部品を加工する。
・ 右側も同様に加工してください。



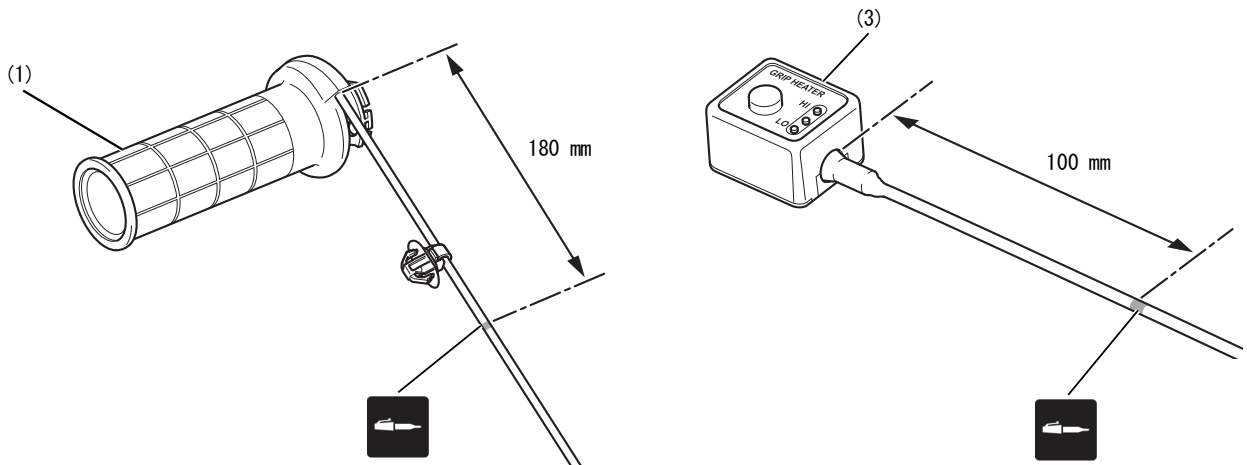
9. 図の部品を取り付ける。
 ・ 右側も同様に取り付けてください。



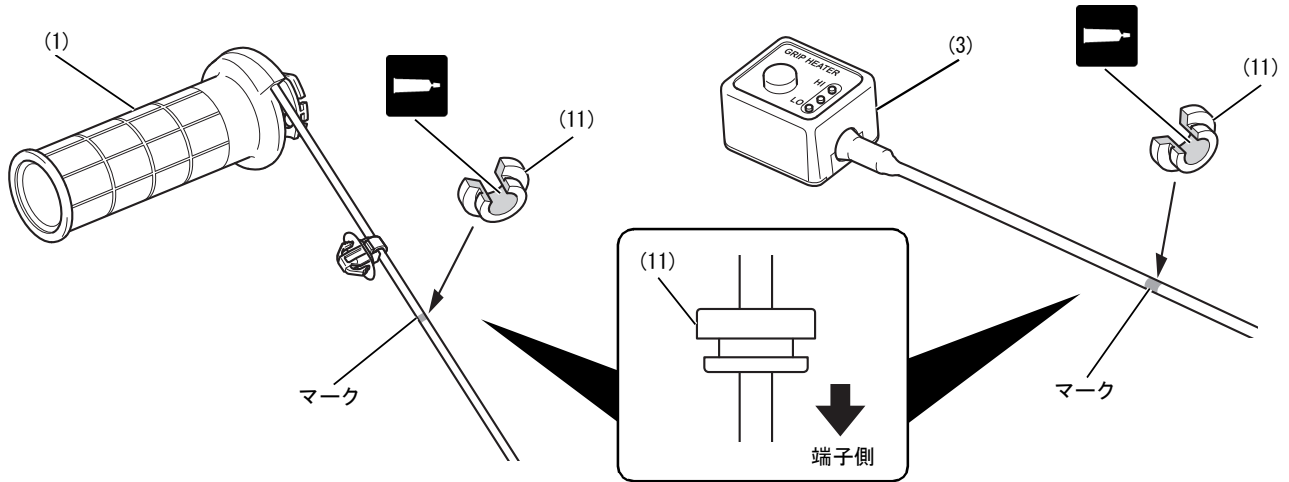
10. 図の部品を加工する。



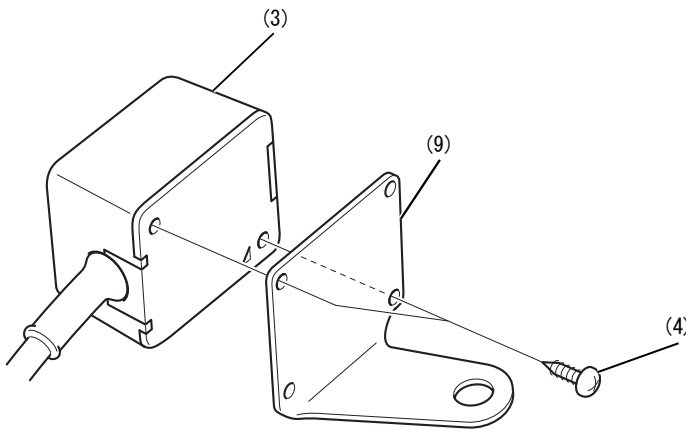
11. 図の部品にマークを付ける。



12. 図の部品を取り付ける。

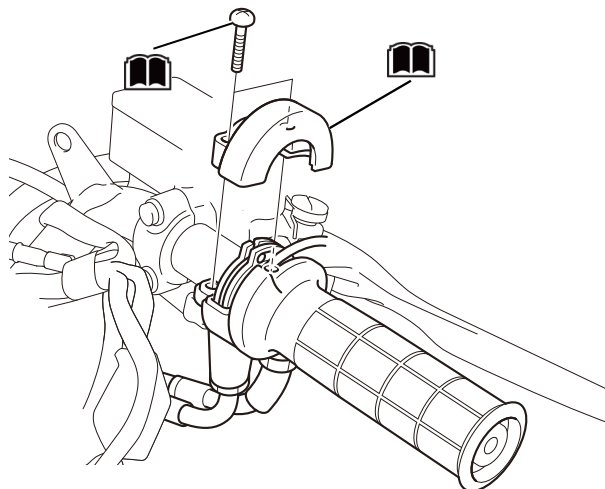


13. 図の部品を取り付ける。

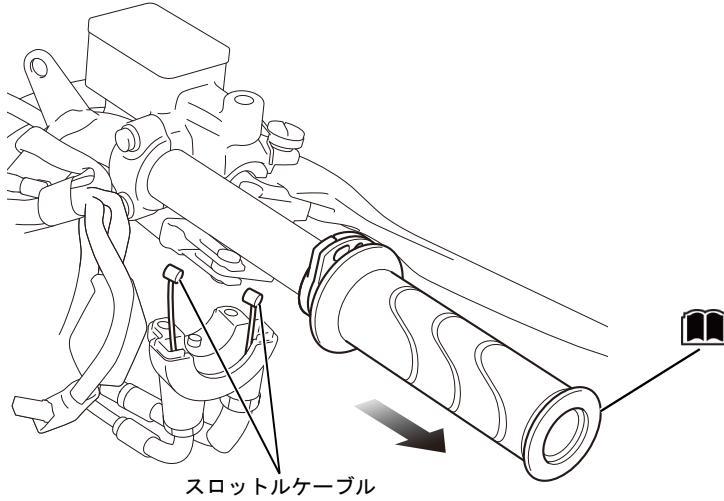


14. 図の部品を取り外す。

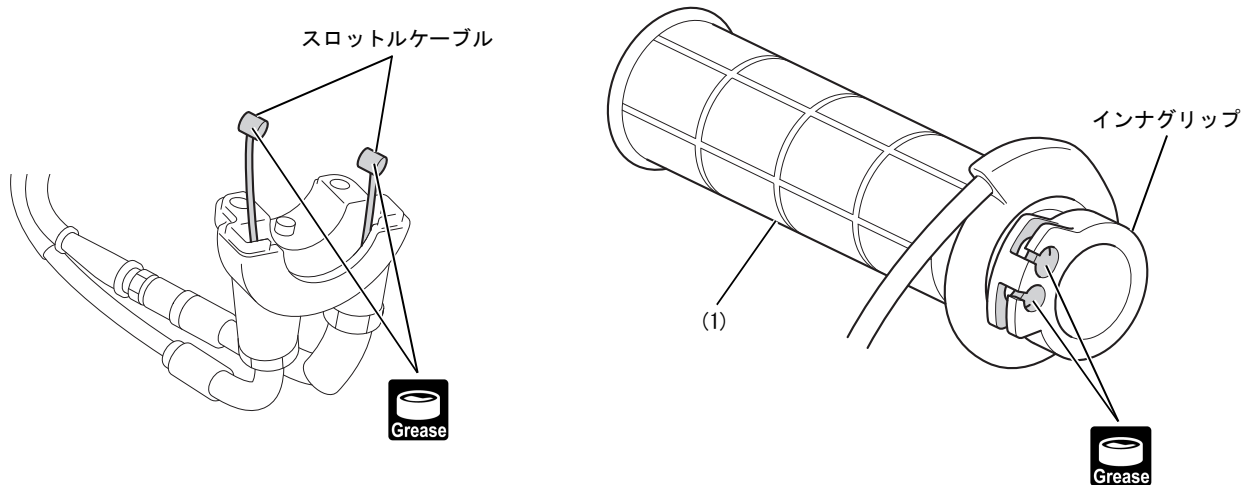
〈右側〉



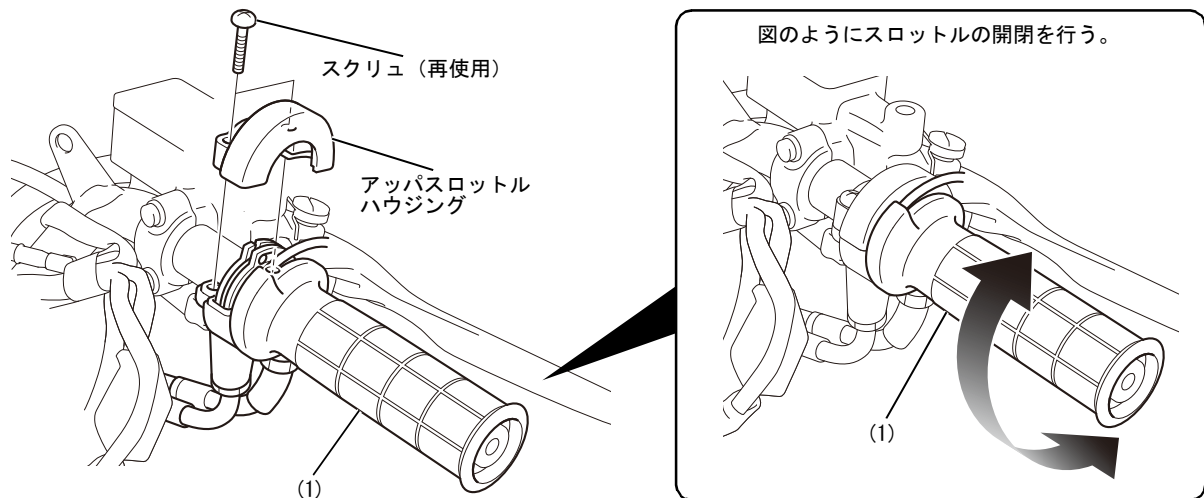
15. 図の部品を取り外す。



16. 図の部品にグリスを塗布する。

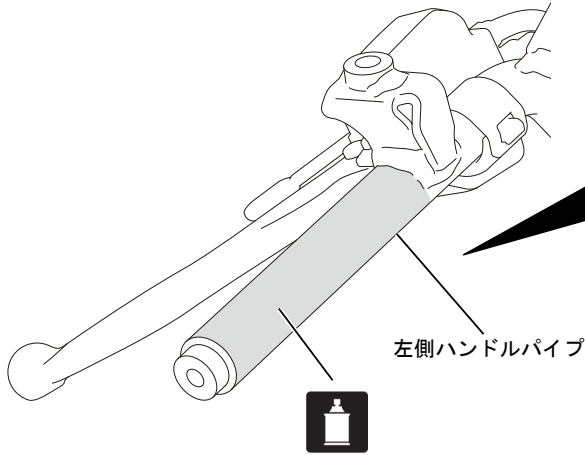


17. 取り外しの逆手順で図の部品を取り付ける。
 ・ 取り付け後、サービスマニュアルを参照してスロットルの遊びを調整してください。
 ・ 開閉がスムーズに行われるか確認してください。

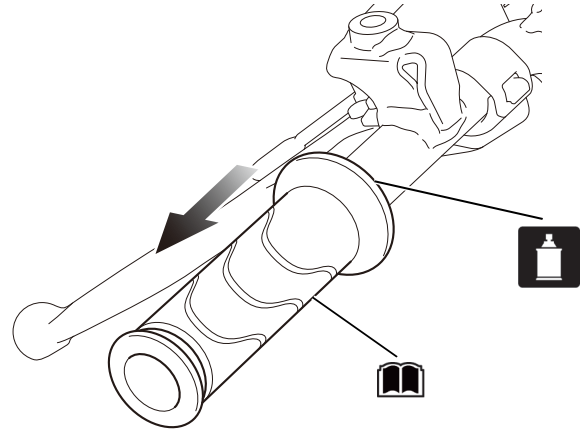


18. 図の部品を取り外し、脱脂洗浄剤を使用して左側ハンドルパイプに付いている接着剤を取り除く。

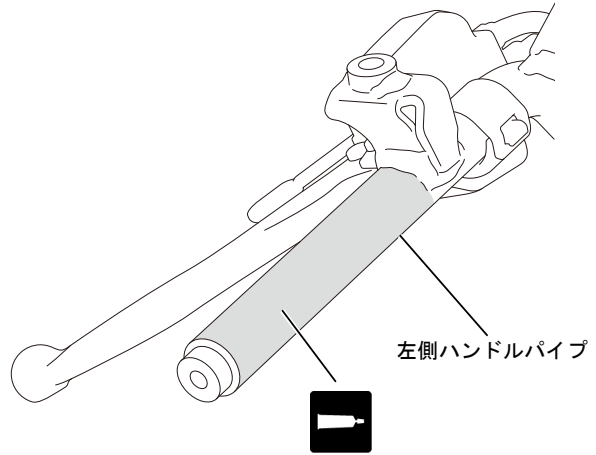
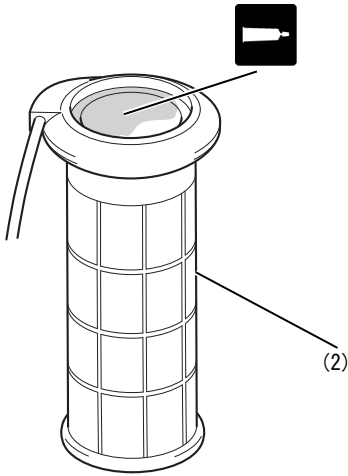
〈左側〉



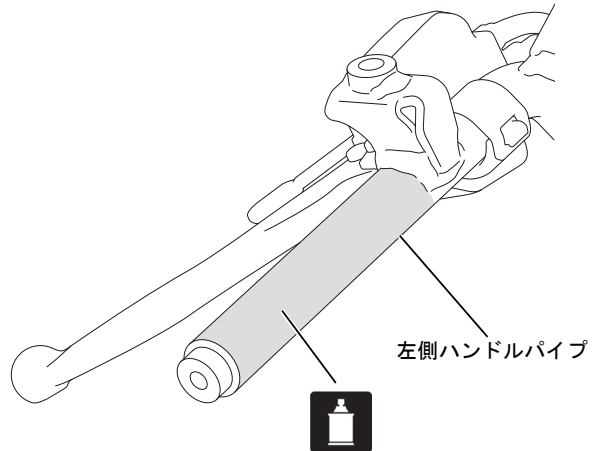
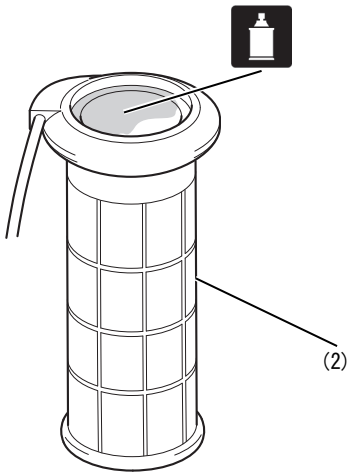
図の部品を取り外す。



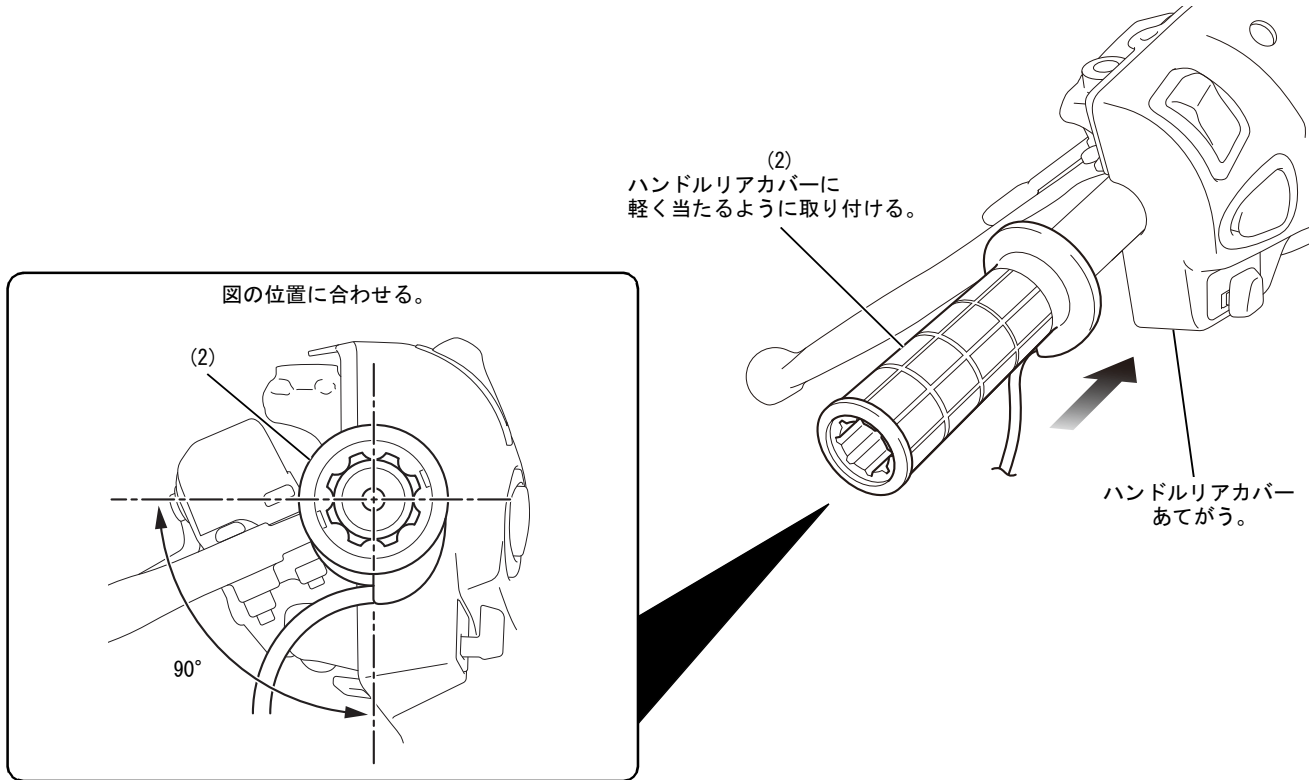
19. 図のようにゴム用接着剤を塗布する。
 ・ 手順 19 ~ 21 は、作業内容を一読し全て確認してから、接着剤が乾かないうちに作業してください。また車両が倒れないように補助を一人付けてください。



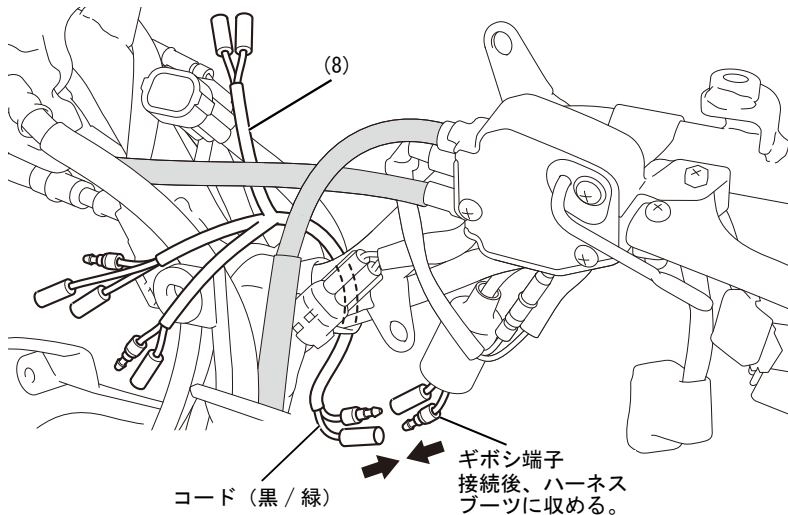
20. 図のように脱脂洗浄剤をスプレーする。
 ・ 取り付け位置を合わせやすくするために行います。



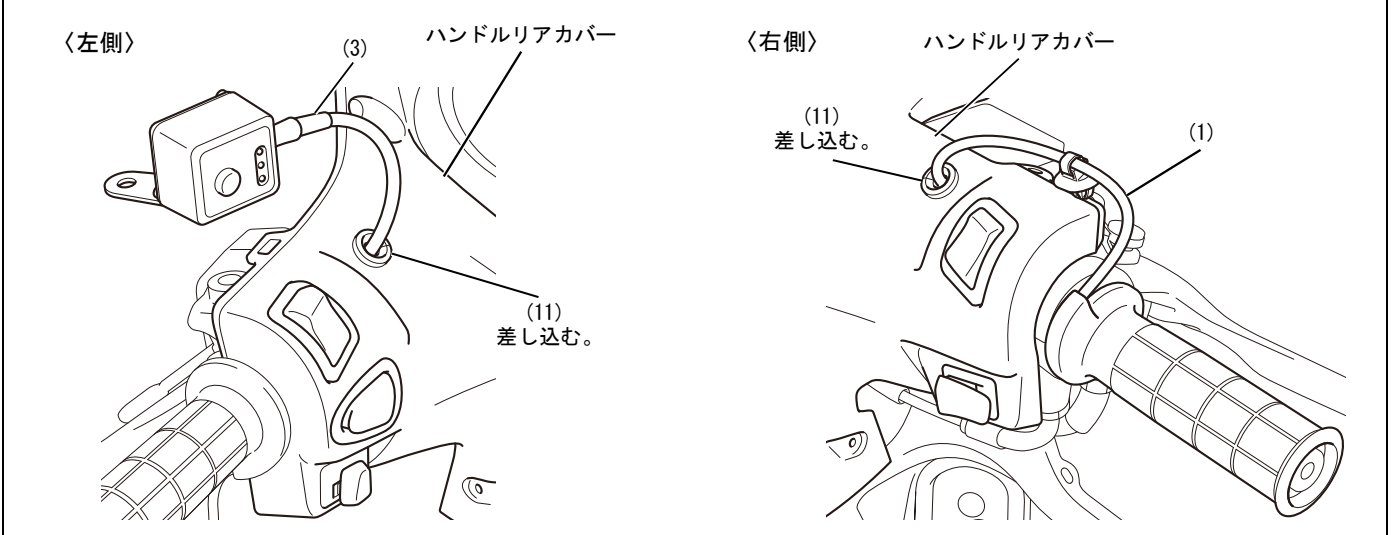
21. 図の部品を取り付ける。
- ・ はみ出た接着剤は拭き取ってください。
 - ・ グリップヒーターを挿入するとき、「グリップエンドをハンマでたたく」「グリップを強くねじる」などは行わないでください。グリップヒーター内で断線する恐れがあります。
 - ・ 万一、グリップヒーターが途中で入らなくなったときは、グリップヒーターとハンドルパイプの隙間に脱脂洗浄剤を入れて取り外してください。無理に配線ドライバなどでこじ開けると、グリップヒーター内で断線する恐れがあります。
 - ・ 左側グリップヒーター取り付け後、最低でも1時間は左側ハンドルに触れないでください。また、ヒータースイッチをONにしないでください。



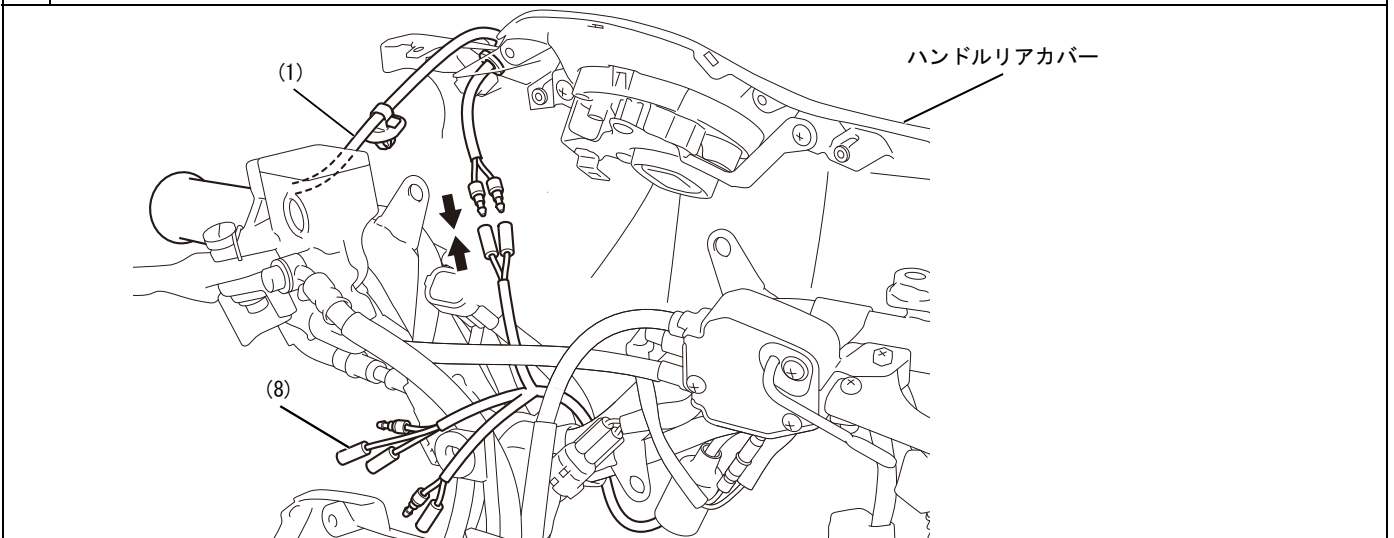
22. 図の部品を取り廻し、接続する。



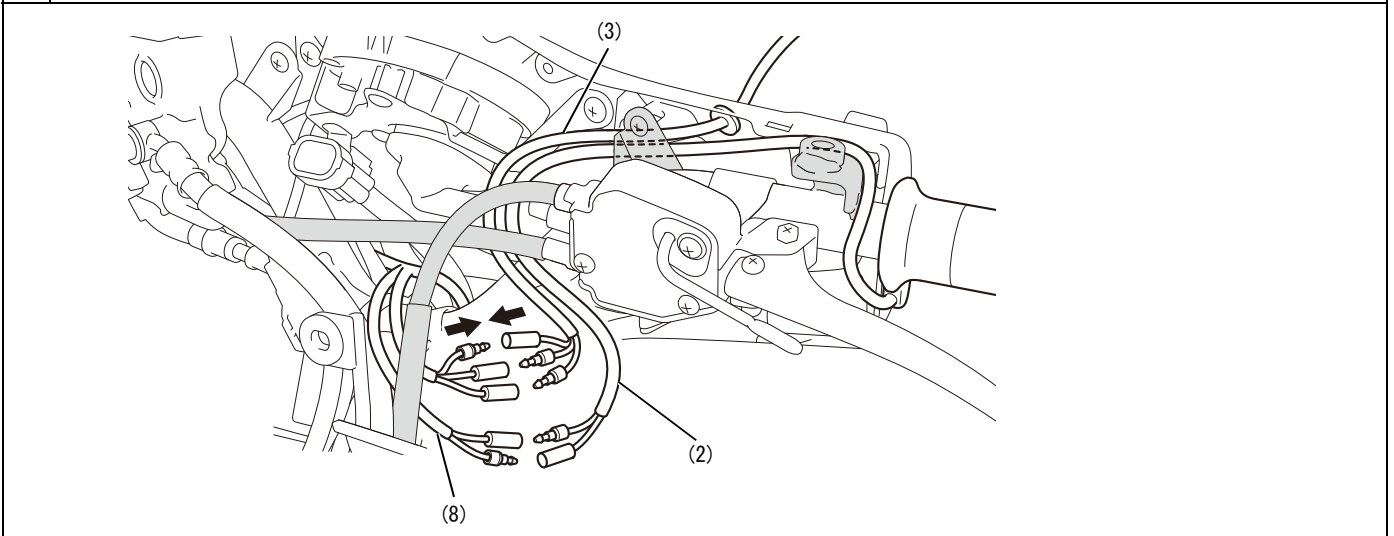
23. 図の部品を取り付ける。



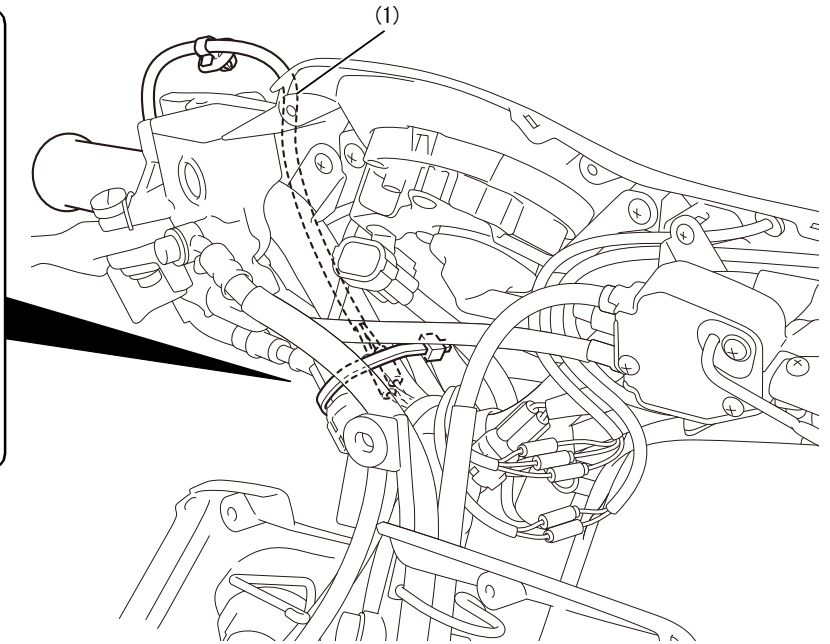
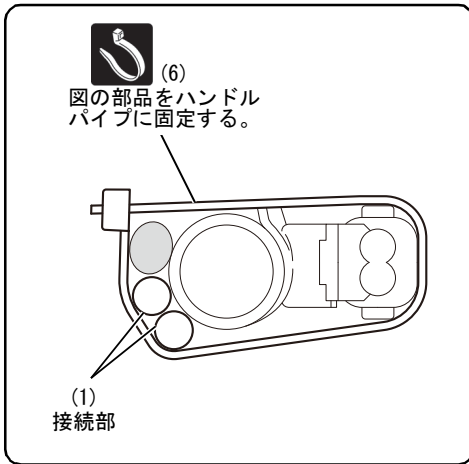
24. 図の部品を取り廻し、接続する。
 ・ 接続後、取り外しの逆手順でハンドルリアカバーを取り付けてください。
 ・ ハーネスのかみ込み、引っ張りがないことを確認してください。



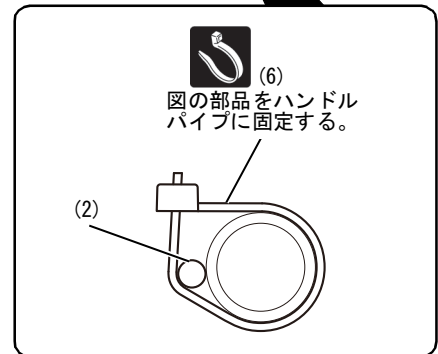
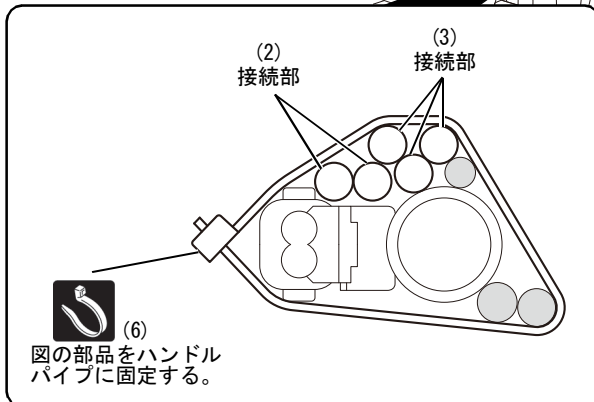
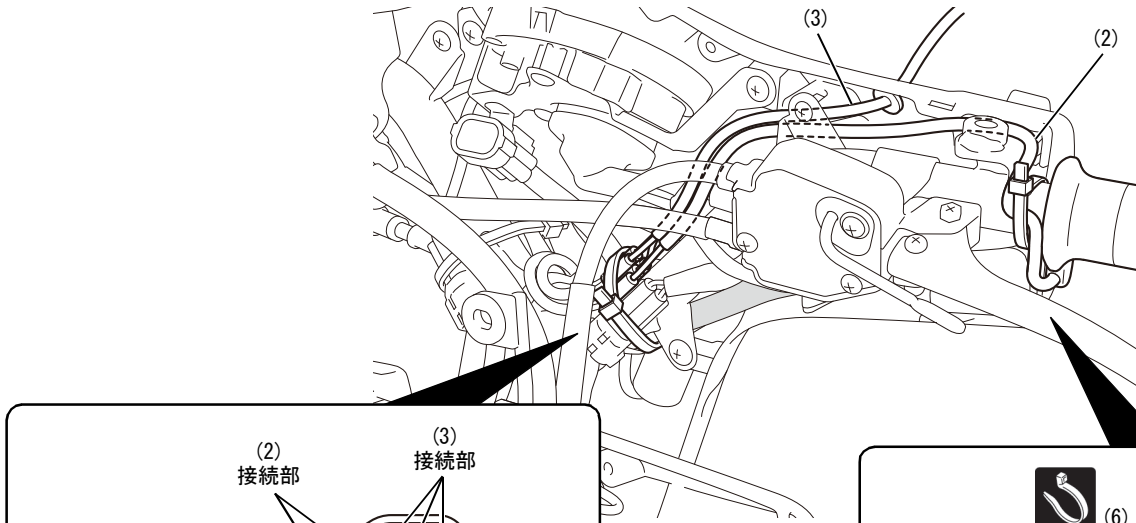
25. 図の部品を取り廻し、接続する。



26. 図の部品を固定する。

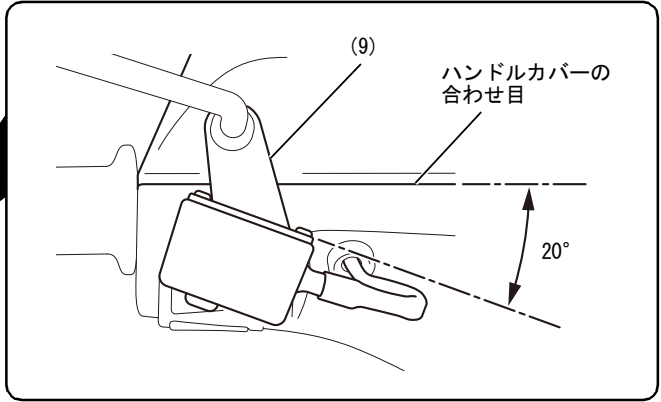
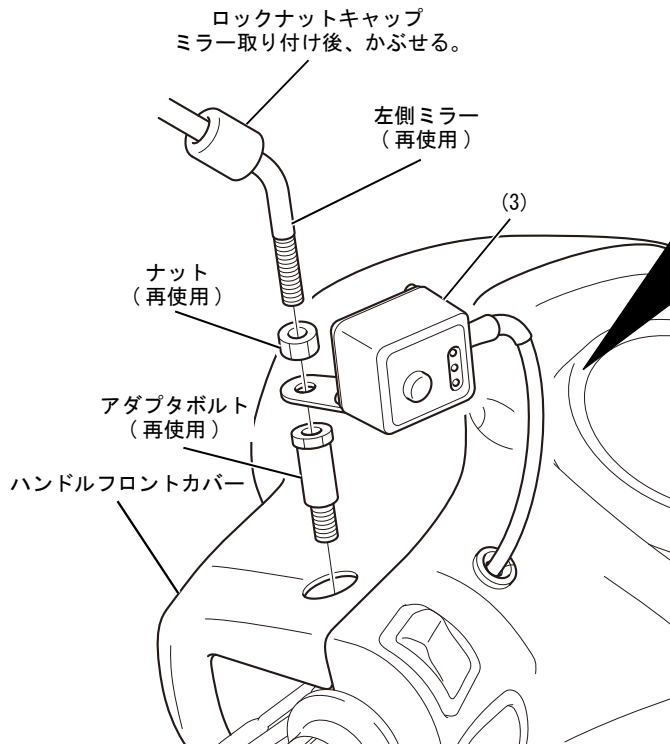


27. 図の部品を取り廻し、固定する。



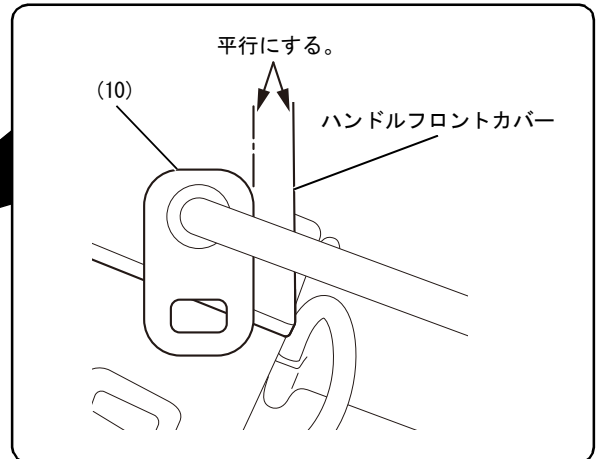
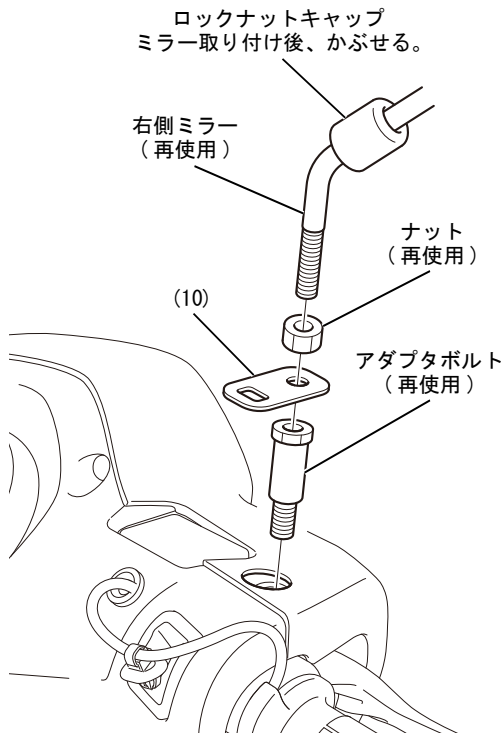
28. 取り外しの逆手順でハンドルフロントカバーを取り付け、図の部品を取り付ける。
 ・ハーネスのかみ込み、引っ張りがないことを確認してください。

〈左側〉

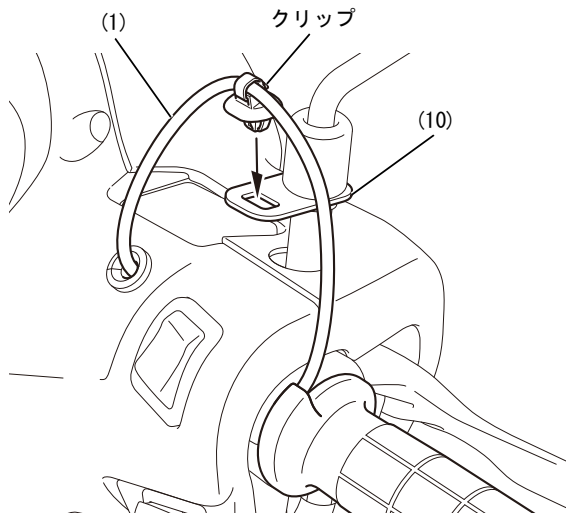


29. 図の部品を取り付ける。

〈右側〉

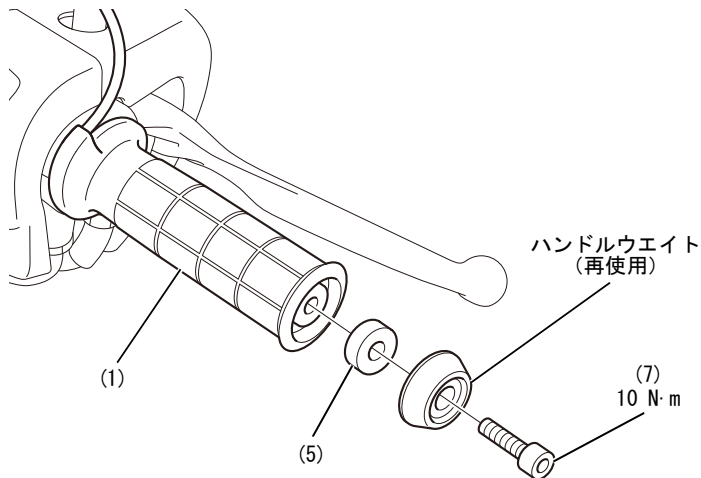


30. 図の部品を固定する。
 ・ スロットルの開閉を行い、ハーネスの引っ張りがないことを確認してください。



31. 図の部品を取り付ける。
 ・ 左側も同様にに取り付けてください。

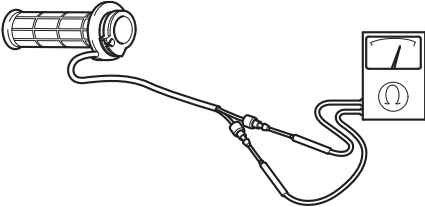
〈右側〉



32. 取り外しの逆手順で取り外した車両部品を取り付ける。
 ・ 各ケーブル、ハーネスのかみ込み、引っ張りがないことを確認してください。

販売店様故障診断

・ グリップヒーター作動確認以外の各部品、回路の点検は、メインスイッチを OFF にして動力用バッテリーを取り外して行ってください。

不具合事象	確認内容				
<p>グリップヒーターが作動しない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ グリップヒーターの不良 ・ グリップヒーターコイルの不良 ・ ハーネスの断線、またはショート ・ ヒータースイッチの不良 	<ol style="list-style-type: none"> 1. コード類（端子、カブラ）の結線は確実に行われているか？ 2. グリップヒーターの点検 <ul style="list-style-type: none"> - 端子間で各グリップヒーターの抵抗を測定する。 <div style="margin-left: 40px;"> <table style="border: none;"> <tr> <td style="padding-right: 20px;">標準値</td> <td>右側：4.2 Ω ± 10 %</td> </tr> <tr> <td></td> <td>左側：4.8 Ω ± 10 %</td> </tr> </table> </div>  3. ヒーターハーネスの点検 <ul style="list-style-type: none"> - 回路図を参照し、導通検査を行う。 4. 上記の点検で異常がなく、グリップヒーターが作動しない場合はヒータースイッチの交換を行う。 <p>※ スイッチは IC 回路が含まれているため通常の点検（導通点検等）での確認は困難です。</p>	標準値	右側：4.2 Ω ± 10 %		左側：4.8 Ω ± 10 %
標準値	右側：4.2 Ω ± 10 %				
	左側：4.8 Ω ± 10 %				

●商品に関するお問い合わせ

株式会社ワイズギア



0120-819049

オープン時間 月曜～金曜（祝日、弊社所定の休日除く）
9:30～12:00 13:00～17:00
◎音声アナウンスに沿って担当部署をお選びください。

〒430-0946 静岡県浜松市中央区元城町115-10 元城町共同ビル FAX 053-488-5630